



## 2024年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月13日

上場会社名 株式会社Amazia 上場取引所 東  
コード番号 4424 URL <https://amazia.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 亮輔  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 神津 光良 TEL 03-6415-3435  
定時株主総会開催予定日 2024年12月24日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2024年12月25日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家及びアナリスト向け

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年9月期の連結業績 (2023年10月1日~2024年9月30日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期	3,586	—	△400	—	△403	—	△589	—
2023年9月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年9月期 △589百万円( —%) 2023年9月期 一百万円( —%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年9月期	△89.62	—	△48.5	△20.7	△11.2
2023年9月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2024年9月期 一百万円 2023年9月期 一百万円

- (注) 1. 当社は、2024年9月期より連結財務諸表を作成しているため、2024年9月期の対前期増減率並びに2023年9月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。また、連結初年度のため、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は、それぞれ期末自己資本及び期末総資産に基づいて計算しております。
2. 2024年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期	1,950	1,279	62.3	184.85
2023年9月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年9月期 1,215百万円 2023年9月期 一百万円

(注) 当社は、2024年9月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期の数値については記載しておりません。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年9月期	△336	△83	2	928
2023年9月期	—	—	—	—

(注) 当社は、2024年9月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年9月期の数値については記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)	
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			%	%
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭				
2023年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—	
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—	
2025年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—	

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通 期	3,050	△15.0	△425	—	△430	—	△432	—	△65.8

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(注) 特定子会社の異動に該当しませんが、株式会社Amazia Link、株式会社ウイズマイメディカルを新規設立したことに伴い、当連結会計年度より当該子会社2社を連結の範囲に含めております。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期	6,757,800株	2023年9月期	6,754,600株
② 期末自己株式数	2024年9月期	180,504株	2023年9月期	180,504株
③ 期中平均株式数	2024年9月期	6,577,217株	2023年9月期	6,575,589株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、2024年11月14日（木）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する決算説明資料につきましては、TDnetで本決算短信と同時に開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計上の見積りの変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

当社グループは、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度との比較・分析は行っておりません。

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループの主要な事業領域である電子書籍市場規模は、インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2024」によると、2023年度は6,449億円と推計され、2022年度の6,026億円から423億円(7.0%)増加し、2028年度には8,000億円を超える市場に成長すると予測されており、電子書籍ユーザーは引き続き増加傾向にあります。

一方で、電子書籍のビジネスモデルの多様化や成熟によって電子書籍市場が徐々に飽和していくことも想定されます。また、引き続き厳しい競争環境や世界経済の停滞及び国内のインフレが、アクティブユーザー数の伸び悩みや1人当たりの課金売上の低下をもたらしていることに加え、広告市況の悪化により広告単価が低下したため、広告収益が減少しました。

このような市場環境の中で、当社グループは成長戦略として市場開拓戦略と多角化戦略を掲げ、Web電子書籍市場への本格参入、マンガアプリの海外展開及び新規事業の創出を推進しています。当連結会計年度において、新規事業に注力するため新規子会社を設立し、連結の範囲に含めております。

この結果、当連結会計年度における売上高は3,586,956千円、営業損失は400,612千円、経常損失は403,486千円、親会社株主に帰属する当期純損失は589,444千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「3 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

#### (マンガアプリ事業)

主力サービスである「マンガBANG!」で配信される作品の差別化を図るために、出版社との信頼関係を深化させ、先行配信や人気作品の配信数の増加に努めてきました。その結果、2023年12月下旬より、「マンガBANG!」の主力コーナーで初めて小学館作品の配信を開始しております。引き続きオリジナル作品の制作を強化しており、その一環として2024年3月に株式会社WithLinks(非連結子会社)の株式を取得し、WEBTOON制作も開始しました。また、2023年10月にWeb版「マンガBANG!」を「マンガBANGボックス」にリニューアルし、Web電子書籍市場にも本格的に参入し、アプリで培ったユーザー基盤を基に、価格面での競争力強化に努めてきました。

この結果、売上高は3,586,406千円、セグメント損失は54,959千円となりました。

#### (ITソリューション事業)

当連結会計年度より、新規設立した株式会社Amazia Link、株式会社ウィズマイメディカルを連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに「ITソリューション事業」を追加しております。

当社グループは成長戦略として新規事業の創出を掲げておりますが、その一環として株式会社Amazia Linkでは慢性的なエンジニアの人材不足が課題となっているIT業界で、人材不足解消に寄与すべくSES(システムエンジニアリングサービス)事業を開始するとともに、インターネット広告を商材としたSEOメディアを運営する事業の立上げ準備を行いました。また、株式会社ウィズマイメディカルでは、近年都心部を中心に広がっているオンライン診療へのニーズが今後益々高まると考え、提携クリニックに対してオンライン診療の支援サービスの立上げ準備を行いました。

この結果、当連結会計年度においては新規事業立上げによる先行投資期間であることから、売上高は550千円、セグメント損失は16,393千円となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産の部)

当連結会計年度末における総資産は1,950,236千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が928,509千円、売掛金が517,990千円、敷金及び保証金が216,326千円であります。

### (負債の部)

当連結会計年度末における負債合計は670,606千円となりました。主な内訳は、買掛金が224,931千円、未払金が209,707千円、前受金が193,070千円であります。

### (純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は1,279,629千円となりました。主な内訳は、利益剰余金が618,406千円、資本金が366,724千円、資本剰余金が363,010千円であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、928,509千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動の結果使用した資金は、336,374千円となりました。その主な要因は、売上債権の減少118,062千円、減損損失の計上107,912千円により資金が増加した一方、税金等調整前当期純損失の計上548,649千円、未払金の減少24,117千円、前受金の減少21,766千円により資金が減少したことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動の結果使用した資金は、83,389千円となりました。その主な要因は、敷金及び保証金の差入による支出56,908千円、有形固定資産の取得による支出40,143千円によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動の結果得られた資金は、2,530千円となりました。その要因は、新株予約権の行使による株式の発行による収入1,410千円、非支配株主からの払込みによる収入1,120千円によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、電子書籍市場が拡大する一方、業界内の競争激化、巣ごもり需要の反動並びに世界経済の停滞による広告市況の悪化が継続しております。

このような厳しい市場環境の中で、当社は2026年9月期以降の再成長、黒字化に向けて、2025年9月期を先行投資期間と定め、マンガアプリ事業における利益確保及びITソリューション事業、新規事業への積極的な投資を行って参ります。

マンガアプリ事業では、利益確保に向けて、まだ市場が導入期である海外市場への広告宣伝費等の先行投資を抑制し、成長性と収益性のバランスを図ってまいります。また、オリジナル作品の制作については、子会社化した株式会社WithLinksと協力して、大ヒット・メディアミックス化による収益の重層化を目指すとともに、オリジナル作品が読めることで当社グループの主力サービスである「マンガBANG!」の他社サービスとの差別化の確立を目指して参ります。

ITソリューション事業では、事業拡大を優先させ、エンジニアの採用及び広告宣伝費等の先行投資を積極的に行って参ります。また、業容の拡大のために、既存事業と親和性が高い新規事業の創出を進めて参ります。

以上より、2025年9月期の連結業績は、売上高3,050百万円、営業損失425百万円、経常損失430百万円、親会社株主に帰属する当期純損失432百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用については、株主構成及び国内の同業他社の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		当連結会計年度 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		928,509
売掛金		517,990
コンテンツ		34,040
未収還付法人税等		2,825
その他		147,418
流動資産合計		1,630,785
固定資産		
有形固定資産		
建物		4,418
減価償却累計額		△4,418
建物(純額)		-
工具、器具及び備品		15,456
減価償却累計額		△15,456
工具、器具及び備品(純額)		-
有形固定資産合計		-
投資その他の資産		
敷金及び保証金		216,326
投資有価証券		103,125
投資その他の資産合計		319,451
固定資産合計		319,451
資産合計		1,950,236

(単位：千円)

当連結会計年度  
(2024年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	224,931
未払金	209,707
未払法人税等	95
賞与引当金	1,800
前受金	193,070
契約負債	2,149
その他	31,603
流動負債合計	663,356
固定負債	
関係会社事業損失引当金	7,250
固定負債合計	7,250
負債合計	670,606
純資産の部	
株主資本	
資本金	366,724
資本剰余金	363,010
利益剰余金	618,406
自己株式	△132,346
株主資本合計	1,215,794
新株予約権	62,989
非支配株主持分	844
純資産合計	1,279,629
負債純資産合計	1,950,236



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,586,956
売上原価	2,623,203
売上総利益	963,753
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	758,553
役員報酬	73,319
従業員給料及び手当	190,219
法定福利費	44,193
地代家賃	71,134
支払報酬	43,289
その他	183,655
販売費及び一般管理費合計	1,364,365
営業損失(△)	△400,612
営業外収益	
受取利息	126
受取手数料	2,875
その他	337
営業外収益合計	3,338
営業外費用	
為替差損	4,252
本社移転費用	1,261
その他	699
営業外費用合計	6,213
経常損失(△)	△403,486
特別損失	
減損損失	107,912
関係会社事業損失引当金繰入額	7,250
関係会社株式評価損	30,000
特別損失合計	145,162
税金等調整前当期純損失(△)	△548,649
法人税、住民税及び事業税	625
法人税等調整額	40,444
法人税等合計	41,069
当期純損失(△)	△589,719
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△275
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△589,444

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)
	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
当期純損失(△)	△589,719
包括利益	△589,719
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△589,444
非支配株主に係る包括利益	△275

## (3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	366,004	362,290	1,207,851	△132,346	1,803,799
当期変動額					
新株の発行	720	720			1,440
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△589,444		△589,444
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	720	720	△589,444	-	△588,004
当期末残高	366,724	363,010	618,406	△132,346	1,215,794

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	75,196	-	1,878,996
当期変動額			
新株の発行			1,440
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△589,444
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△12,206	844	△11,362
当期変動額合計	△12,206	844	△599,366
当期末残高	62,989	844	1,279,629

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純損失(△)	△548,649
減価償却費	11,994
減損損失	107,912
関係会社株式評価損	30,000
差入保証金償却額	△4,718
賞与引当金の増減額(△は減少)	320
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	7,250
受取利息	△126
株式交付費	30
株式報酬費用	△12,206
売上債権の増減額(△は増加)	118,062
前受金の増減額(△は減少)	△21,766
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,664
未払金の増減額(△は減少)	△24,117
その他	△22,399
小計	△362,078
利息の受取額	126
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	25,578
営業活動によるキャッシュ・フロー	△336,374
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
関係会社株式の取得による支出	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△40,143
敷金及び保証金の差入による支出	△56,908
敷金及び保証金の回収による収入	43,662
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,389
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,410
非支配株主からの払込みによる収入	1,120
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,530
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△417,233
現金及び現金同等物の期首残高	1,345,743
現金及び現金同等物の期末残高	928,509

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当連結会計年度において、当社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として償却を行っていた敷金について、退去時に必要とされる原状回復費用の新たな情報を入手し、見積りの変更を行いました。

この変更により、従来の方法と比べて、当連結会計年度の営業損失、経常損失及び税金等調整前当期純損失が7,931千円減少しております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績の評価のために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、独立した経営単位である当社及び連結子会社が、当社グループの経営方針のもと、それぞれ事業における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、当社並びに個々の連結子会社が営む各事業を最小単位とした事業セグメントから構成されており、経済的特徴等が類似している事業セグメントを集約した「マンガアプリ事業」、「ITソリューション事業」を報告セグメントとしております。

「マンガアプリ事業」は、主にスマートフォン向けマンガアプリ「マンガBANG!」、Web版「マンガBANGブックス」、海外向けマンガアプリ「MANGA BANG!」の企画・運営及びオリジナルマンガの制作をしております。

「ITソリューション事業」は、主に、システム開発やオンライン診療支援サービス等のIT関連サービスを提供しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、「マンガアプリ事業」の単一セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より、新規設立した株式会社Amazia Link、株式会社ウィズマイメディカルを連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに「ITソリューション事業」を追加しております。

なお、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度に係るセグメント情報は記載しておりません。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

4. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
当連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	マンガアプリ 事業	ITソリューション 事業	計		
売上高					
ユーザー向け売上高	2,448,699	—	2,448,699	—	2,448,699
法人向け売上高	1,137,707	550	1,138,257	—	1,138,257
外部顧客への売上高	3,586,406	550	3,586,956	—	3,586,956
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,586,406	550	3,586,956	—	3,586,956
セグメント損失(△)	△54,959	△16,393	△71,353	△329,258	△400,612
その他の項目					
減価償却費	4,339	—	4,339	7,654	11,994
減損損失	—	—	—	107,912	107,912

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント損失(△)の調整額△329,258千円は、セグメント間取引消去321千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△329,579千円です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る一般管理費であります。
  - (2)その他の項目の減価償却費の調整額7,654千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用に係る減価償却費であります。
  - (3)その他の項目の減損損失の調整額107,912千円は、共用資産に係る減損損失であります。
2. セグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。
3. セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。ただし、配分されていない償却資産の減価償却費は、合理的な配賦基準で各事業セグメントに配賦しております。

## (1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	184.85 円
1株当たり当期純損失(△)	△89.62 円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△589,444
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△589,444
普通株式の期中平均株式数(株)	6,577,217
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第3回新株予約権 新株予約権の数 11個 普通株式 4,400株  第4回新株予約権 新株予約権の数 226個 普通株式 90,400株  第5回新株予約権 新株予約権の数 341個 普通株式 136,400株  第7回新株予約権 新株予約権の数 180個 普通株式 36,000株

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。